（概要版）

歴史的思考力を高める高校日本史指導の工夫

ー不明点のﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ・ｹｰｽｽﾀﾃﾞｨ・学び合い活動を通してー

長期研修員　　古川　整

Ⅰ　主題設定の理由

学習指導要領では？

○歴史的事象がどのような意味・意義をもつのかを解釈する力の育成

○学習内容がより深く理解され、活用できる確かな知識に高める学習活動の重視

（高等学校学習指導要領解説地理歴史編）

群馬県の方針は？

○歴史的事象を多面的・多角的にとらえ、その形成や過程の実証的考察を通して歴史的な思考力を育成する

○知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力育成のバランスに配慮する

（平成23年度県立学校教育指導の重点）

教師の願い

歴史から学んだことを**活用**して欲しい

生徒の実態

歴史用語の暗記に偏った学習

歴史的思考力を高めたい！

歴史的事象の意味や意義を解釈・評価し、実生活で活用する方法を考える力のこと

方法：三つのステップ

目指す生徒像

3 教訓を活用する方法を考える

2 歴史的事象から教訓を読み取る

1 基本的な歴史的事象を理解する

① 教訓活用方法を各自で考察する（ケーススタディ）
② 教訓と活用方法を学び合う
＝多面的・多角的な考え方に気付く

「気付いたこと・学んだこと」から段階的に自らの教訓を読み取る

① 不明点を明確にしておく
② 不明点がﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸされた授業を受ける
③ 「気付いたこと・学んだこと」を表現する

Ⅱ 研究の構想

目指す生徒像

歴史的事象から読み取った教訓を実生活で活用する方法について考え、学び合う活動を通して、歴史的思考力が高まった生徒

研究の手だて

歴史的思考力の向上
歴史的事象の意味や意義を解釈・評価し、実生活で活用する方法を考える力

教訓を実生活で活用する方法を考える

ケーススタディ
・教訓の具体的活用方法例を考察

学び合い活動
・教訓と活用方法例を学び合う
→ 多面的・多角的な思考

読み取った教訓を自らの実生活で具体的に活用する方法を考える力が付く

歴史的事象から教訓を読み取る

「気付いたこと・学んだこと」の利用
①「気付いたこと・学んだこと」から段階的に教訓を読み取る
②読み取った教訓を表現する

歴史的事象から実生活に役立つ教訓を読み取る力が付く

基本的な歴史的事象を理解する

不明点をﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸした授業
①不明な語句
②内容の疑問点
→ 明確化
③ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸｼｰﾄの活用
← 反映
④理解した内容の表現
＝「気付いたこと・学んだこと」の記述

不明点を把握

不明な点が授業で解決し、基本的な歴史的事象の理解力が高まる

検証方法

- 教訓の活用方法例が具体的で、実践可能なものかを評価
- 歴史的事象から実生活に活かせる教訓を読み取れたかを評価
- 内容の疑問点と「気付いたこと・学んだこと」が授業のねらいに即したものかを評価

生徒の実態
○歴史用語の暗記に偏った学習 → 読解力・思考力・判断力・表現力の不足
○歴史から学んだことが自らの実生活で活用できるという視点の欠如

ズレ

教師の願い
○歴史的事象の意味や意義を解釈・評価できる力を付けたい
○歴史的事象から学んだことを実生活で活用する方法を考える力を付けたい

新学習指導要領との関連
○歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈する必要性
○人としての在り方・生き方に関する適切な教育の必要性
○学習内容を実生活で生かすことが本当の意味での基礎・基本の習得

Ⅲ 授業実践

基本的な歴史的事象を理解する

授業の前に不明な語句と内容の疑問点を明確にする

基本的な歴史的事象を理解する

不明点をﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸされた授業を受ける

理解した内容を「気付いたこと・学んだこと」として記述する

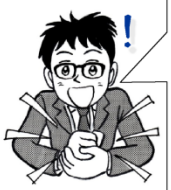
ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸｼｰﾄ（不明な語句）

	言葉	人数	意味
1	生業	9	生活をしていくための仕事
2	館	7	規模の小さい城、拠点、とりで
3	通交	4	国と国とが親しく交際すること

ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸｼｰﾄ（内容の疑問点）

疑　問　点	人数	理由
琉球王国が中継貿易を行った理由	18	授業で解決しよう！
日朝貿易に幕府以外の商人たちが参加できた理由	14	
和人が北海道(蝦夷ヶ島)に進出した理由	13	
和人の進出によってアイヌが圧迫された理由	11	和人がアイヌの交易権や支配権を収奪
日朝貿易が応永の外寇で一度中断された理由	6	日朝貿易の窓口の対馬が襲撃された

気付いたこと・学んだこと



琉球王国が中継貿易を行ったのは、明が海禁政策をとっていたため

月　日（　）
年　組　番
氏名：

「気付いたこと・学んだこと」を記述することで学習内容が確認でき、基本的な歴史的事象の理解度が高まりました。

歴史的事象から教訓を読み取る

「気付いたこと・学んだこと」から段階的に教訓を読み取る

ケーススタディワークシート　　年　組　番　氏名：

Q１．これまでの授業で記述した「気付いたこと・学んだこと」から一つ選び、その文章の主語を「(一般的な)人」→「私（自分自身）」と変化させて自らの教訓にしてみよう。（裏面記入例参照）

気付いたこと・学んだこと
琉球王国が中継貿易を行ったのは、明が海禁政策をとっていたため

「(一般的な)人」を主語にすると･･･
人は、様々な制約の中でも、工夫すれば良い成果を得られることがある

「私」を主語にして自分自身の教訓にすると･･･
私は、良いものにするために工夫するという姿勢を忘れないようにしよう

文章の主語を段階的に変化させることで教訓を自然に読み取れました。

教訓を活用する方法を考察する

教訓の活用方法を具体的に考察するｹｰｽｽﾀﾃﾞｨを行う

教訓と活用方法例を学び合うことで、多面的・多角的な考え方に気付く

Q２．その「教訓」は、あなた自身の実生活でどのように活用できるだろうか。

○○（場面・状況）で、△△（起こりうる事態）の時には、□□（考えられる具体的な行動）をしよう

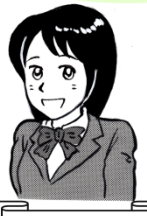
･･･などというように書いてみよう。思いつく状況をいくつでも挙げてみよう。

部活での練習方法を見直し、より効果的な方法がないか考えよう。

勉強は夜より朝やる方が効果的らしいから、今度やってみよう。

教訓を活用する場面を具体的に想定することで、教訓が活用しやすいものになりました。

学び合いシート　　年　組　氏名：



（　花子　）さん

（　花子　）さん の教訓は･･･
可能性があるなら挑戦しよう

（　花子　）さん の活用方法は･･･

数学が苦手でも医学部に合格する可能性はゼロじゃないから、毎日２時間以上数学を勉強しよう。

～私の感想～
確かにチャレンジ精神は大切だ。僕も部活や勉強で、少しでも「上」をねらって挑戦したい。

他の友達の教訓と活用方法を学んだことで自分には無い考え方に気付き、歴史的思考力が高まりました。

Ⅳ　研究の結果と考察

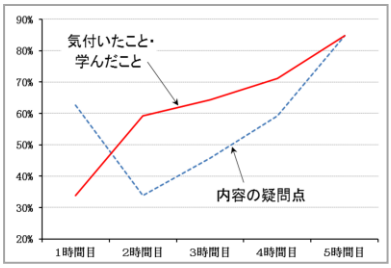


図1　授業のねらいに即した文が記述できた生徒の割合

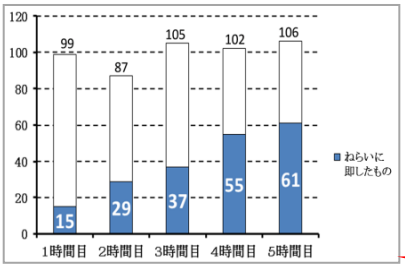


図2　「気付いたこと・学んだこと」の記述数と、そのうちの授業のねらいに即したものの数

授業のねらいに即した記述が増加した

基本的な歴史的事象の理解度が高まった

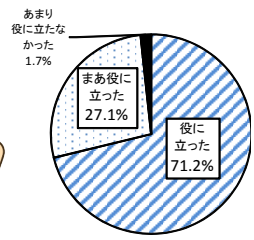


図3　「不明な語句」記述の有用感

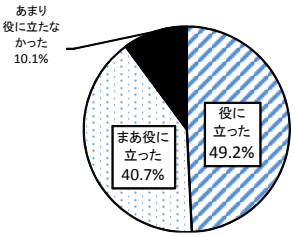


図4　「内容の疑問点」記述の有用感

不明点をﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸされた授業を受けることで有用感が高まった

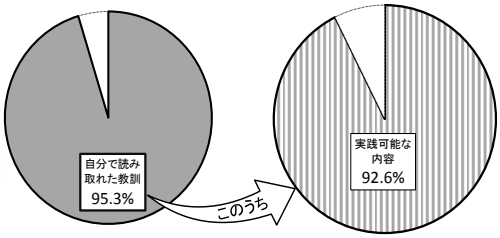


図5　自分で読み取れた教訓のうち実践が可能なもの

実践が可能な教訓を読み取ることができた

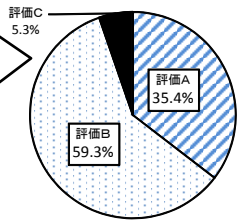
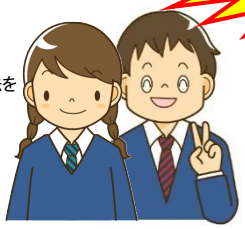


表　活用方法を実践する可能性で評価する基準

A	今すぐに始められ、日常的に継続できるもの
B	今すぐにではないが、近い将来確実に実践できるもの
C	実践できる可能性は少ないが、無いとは言えないもの
D	実践できる可能性がほとんど、または全く無いもの

図6　評価基準で教訓の活用方法を判定した結果

教訓を活用する方法を考える力がついた



Ⅴ　研究のまとめ

課題を踏まえ、歴史的思考力をさらに高められるようにしたいです

成果

歴史的思考力が高まった

① 「不明な語句」と「内容の疑問点」を明確にする
② 「気付いたこと・学んだこと」から段階的に教訓を読み取る
③ 教訓を活用できるケースを考え、それを学び合う

課題と対策

- **成績層による有用感の違い** → 単元の内容に応じて、国の政策や法令などの課題について考察させる
- **教師の内容説明や生徒の学習活動時間の不足** →
  - 授業内容のさらなる精選
  - 実施単元内容が適切かどうかの判断

問い合わせ先　群馬県総合教育センター　担当係：高校教育研究係　0270－26－9214（直通）